

新型コロナウイルスによる生乳需給への影響を鑑み、直近の飲用等向けの販売状況の推移を中心に毎週発信してまいります。

発行：一般社団法人Jミルク生産流通グループ

《家庭内消費は堅調に推移しているが、『年末年始期』は万全の体制で臨むことが必要》

- ・12/7週の家庭内消費については、牛乳、成分調整牛乳は前年同期を上回っており好調に推移している。また、家庭用バターについても引き続き前年を大きく上回って推移している。
- ・当面は、新型コロナウイルスの感染再拡大による外出自粛などの行動制限により巣ごもり消費が見込まれる一方で、都市部では飲食店の時短営業が行われており、さらに、全国的な「Go Toキャンペーン」の一時停止も決定したことから、今後の業務用需要への影響は一層大きくなるものと考えられる。
- ・なお、学校や一部量販チェーンが休業となる『年末年始』については、年末のクリスマス需要も一段落する中で、不透明な点も多く、例年と異なる需給緩和の恐れもあることから、業界としては万全な処理体制の準備、消費拡大の取組みが重要となる。

【牛乳類の販売速報(推定値)：インテージSRI】

(1)直近(本年10月～)の動向(表①参照)

・直近(12/7週)の販売個数(前年同期比)は、牛乳：同104.0%、成分調整牛乳：同102.2%、加工乳：同95.8%、乳飲料：同95.2%。

・牛乳類トータルでは同102.3%と前週(11/30週)より伸び率は若干縮小した。

・販売単価は、牛乳：189.4円、成分調整牛乳：172.2円、加工乳：184.4円、乳飲料：150.6円。

(2)各品目とも前週(11/30週)と同程度の水準で推移している。

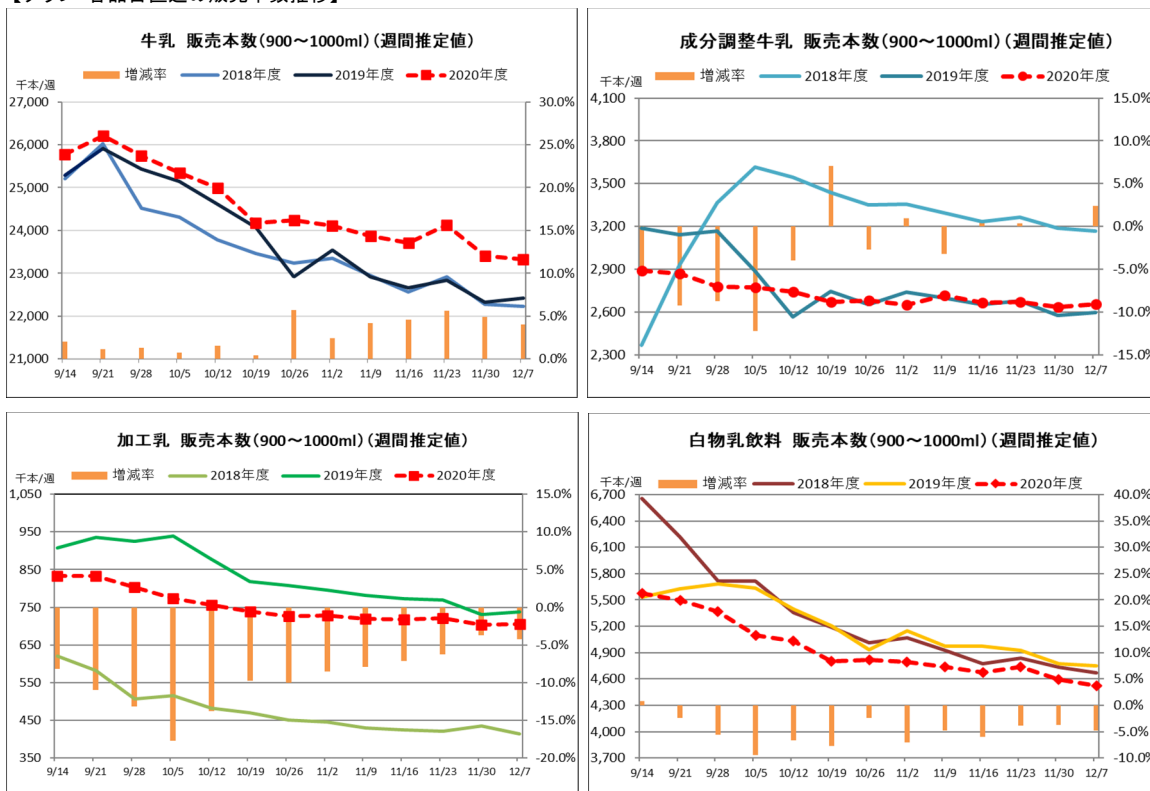
※出典 (株)インテージSRI週データ。販売本数、販売単価(税抜)については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

【表① 直近の牛乳類の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

(単位：千個、円)

品目	区分	10.5-	10.12-	10.19-	10.26-	11.2-	11.9-	11.16-	11.23-	11.30-	12.7-
		販売個数	33,983	33,528	32,387	32,456	32,283	32,048	31,757	32,251	31,343
トータル	販売個数前年比	98.2	100.2	98.6	103.6	100.2	102.1	102.2	103.3	103.1	102.3
	販売単価	182.9	182.8	182.8	182.4	182.5	182.2	182.7	182.4	182.2	182.2
牛乳	販売個数	25,337	24,992	24,171	24,237	24,113	23,873	23,703	24,121	23,411	23,325
	販売個数前年比	100.8	101.5	100.4	105.7	102.4	104.2	104.6	105.6	104.9	104.0
	販売単価	190.3	190.2	190.0	189.6	189.7	189.5	190.0	189.4	189.4	189.4
	販売個数	2,774	2,744	2,671	2,679	2,652	2,718	2,663	2,670	2,636	2,655
成分調整牛乳	販売個数前年比	96.1	107.0	97.3	100.9	96.8	100.7	100.4	99.7	102.4	102.2
	販売単価	173.8	173.8	173.7	173.6	173.7	172.6	173.1	173.5	172.7	172.2
	販売個数	773	757	739	726	728	719	718	721	703	706
	販売個数前年比	82.2	86.3	90.2	90.0	91.4	92.0	92.8	93.7	96.3	95.8
加工乳	販売単価	186.1	186.7	185.7	186.1	186.3	186.0	185.5	186.0	185.2	184.4
	販売個数	5,099	5,034	4,805	4,814	4,790	4,739	4,673	4,739	4,593	4,523
乳飲料	販売個数前年比	90.5	93.3	92.3	97.6	93.0	95.2	94.0	96.2	96.3	95.2
	販売単価	150.5	150.6	150.8	150.6	150.8	150.1	150.7	150.7	150.3	150.6

【グラフ 各品目直近の販売本数推移】



**【ヨーグルト類の販売速報(推定値):(一社)Jミルク調べ】**

(1)直近(本年10月～)の動向(表②参照)







直近(12/7週)の販売個数は、ドリンクタイプ(90～250ml):前年同期比90%未満、個食タイプ(70～130ml):同90%以上、大容量タイプ(350～500ml):同90%以上。

(2)ドリンクタイプ・個食タイプは、前週(11/30週)より減少幅が拡大している。

大容量タイプは、再び前年を若干下回った。

【表② 直近のヨーグルト類の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

品目	10.5-	10.12-	10.19-	10.26-	11.2-	11.9-	11.16-	11.23-	11.30-	12.7-
ドリンクタイプ	↘	↘	↘	↘	↓	↘	↘	↓	↘	↓
個食タイプ	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘
大容量タイプ	⇒	⇒	↘	⇒	↘	⇒	⇒	↘	⇒	↘

	:前年比90%未満		:前年比105%以上110%未満
	:前年比90%以上100%未満		:前年比110%以上120%未満
	:前年比100%以上105%未満		:前年比120%以上

※なお、下地の色が濃いほうが、上記範囲内で前年との増減差が大きいことを表す。

※本データの収集・分析は、2020年度生乳需要基盤確保事業を活用し実施しております。